

平成28年12月 1日

年度 技能顕彰申請書

記載例

送電線建設技術研究会

支部 表彰選考委員長 殿

確認事項

申請会員会社名 S 株式会社

代表者 氏名 印

技能顕彰規程に基づき、下記の送電線工事技能者について、技能顕彰の推薦を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。

記

項 目		内 容						
申請候補者		1名						
区分	順位	所属会社	氏 名	評 価 点				同点者の順位決定要因
				資質	能力	功績	合計	
架線	1	A (社)	送研太郎	16.5	36.1	25.5	78.1	同点車の順位決定要因 功績点の高い方、次に 資質点の高い方を優先する その他は表彰選考委員長が実務経歴や特殊工事経験などを勘案して決定する
	2							
組立	1							
	2							
添付資料		1. 技能顕彰候補者 実務経歴書 (様式-2) 2. 同上 技能評価表 (様式-3) 3. その他参考資料 ナシ 部						

技能顕彰候補者 実務経歴書

記載例

(様式2の1)

申請職種	① 架線 ② 組立 ←	申請職種は該当外を線で削除										
所属会社	A 電設株式会社 (高所作業員数 23 名)	入社年月日	昭和 59 年 9 月 勤続 14 年 11 月									
フリガナ 氏名	送研 太郎 ㊟	生年月日	昭和 26 年 12 月 20 日 満 47 歳									
所属会社住所	〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目3-9 所属会社 電 03-5202-6301 ←		資格・免許									
最終学歴 学校・学科名	〇〇高校 普通科	卒業年月日	昭和 44 年 3 月									
実務年数	実務 30 年 月	班長経験年数	就任 昭和 56 年 9 月 経験 17 年 11 月									
総括班長実務年数 (現場で複数の作業班長を指揮統括する任務)		実務 8 年 6 月 ←										
指導監督的 実務経歴	電力会社	工事名	元請会社	工事概要			担当職務	職務の従事期間	当該工事の特色			
	東京電力	南いわき幹線新設	S建設(株)	1000kV	810mm	8導体	2 cct	3.0 km	0 基数	(架)統括班長	H10.5 ~ H11.1	(架)-15 東北新幹線夜間停止
	中部電力	越美幹線新設	T電気(株)	500	410	6	2	4.2	0	(架) "	H9.6 ~ H9.10	(架)-11 急施工(2延線3箇月)
	東北電力	西八戸線新設	S工業(株)	154	530	単	2	4.3	12	(鉄)(架) "	H8.11~H9.4	一般工事
指導監督的実務とは、作業班長以上の職務のこと		(工事名) 最近の工事から書き始め、古い工事へと記載していく。		(工事概要) ○自己が担当した工事 で年間を通じ代表的な工事のみ記載する。 ○鉄塔、基礎工事を担当した場合は基数を記入する。			(担当職務) ○架線工事は(架)、鉄塔工事は(鉄)、基礎工事は(基)の略号で記載する。 ○担当職務は総括班長と作業班長を区別する。 総括班長 — 作業班長-作業主任者・指揮者 (協力応援班も含める) — 作業班長-作業主任者		(特殊工事) ○特殊工事は裏面の分類No.を記載する。 ○その他、環境対策や特殊工法・安全対策などの概要を記載する。			
※指導監督的実務とは作業班長以上の職務をいう				安全・表彰記録		表彰名	表彰者	表彰内容	受賞者名	受賞年月日		
推薦の理由 * 所属会社で記入して下さい (候補者の実務経歴の中で、特に優秀な成果を出した工事件名の内容や優れた技術・技能力・資質などについて具体的に箇条書きで記入して下さい)				○コストダウンや合理化に関する提案・実施数 ○工具・機械に対する卓越した技術力 ○若手技能者の育成数 ○得意先からの信頼感の状況 ○自己の仕事に対する熱意などを記載する。		感謝状	T 社	越美幹線(無事故)	元請 T 社	平成 10 年 3 月		
○南いわき幹線の夜間停止作業では電工 40 名以上を 2ヶ月間毎日統括指揮し、その工程管理と安全対策について発注者から絶大の信頼と高い評価を受けた。				○後進の指導育成に積極的に取り組み、多くの電工を一人前に育て上げ、その見識を第三者からも高く評価されている。		無災害表彰	S 社	無災害 55 ヲ月連続	A 社	平成 5 年 7 月		
						個人で受賞(電力会社以外のものを含めて)したものや、担当した工事で元請会社が受賞したもの、及び安全の工法・工具の開発改善で受賞したものも記載する。						
						(その他 件) 合計 件						
送研認定の作業班長として指揮監督する工事において過去 年間、人身災害等、重大災害の発生はありません。				所属会社 A 電設株式会社		申請会員会社 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>						
上記の通り相違ありません。 平成 11 年 10 月 1 日				代表者 ○ ○ ○ ○ 印		代表者 △ △ △ △ 印						
重大災害とは、死亡災害又は1事故に3名以上の負傷災害(4日以上)の休業をいう。												

※法定「職長教育」、送研認定作業班長(・・)の記載は必須

所属する会社の住所、電話番号を記入

作業班長を実際に担当した経験年数

総括班長を担当した工事の累計実務年数

指導監督的実務とは、作業班長以上の職務のこと

(工事名)
最近の工事から書き始め、古い工事へと記載していく。

(工事概要)
○自己が担当した工事 で年間を通じ代表的な工事のみ記載する。
○鉄塔、基礎工事を担当した場合は基数を記入する。

(担当職務)
○架線工事は(架)、鉄塔工事は(鉄)、基礎工事は(基)の略号で記載する。
○担当職務は総括班長と作業班長を区別する。
総括班長
— 作業班長-作業主任者・指揮者 (協力応援班も含める)
— 作業班長-作業主任者

(特殊工事)
○特殊工事は裏面の分類No.を記載する。
○その他、環境対策や特殊工法・安全対策などの概要を記載する。

○南いわき幹線の夜間停止作業では電工 40 名以上を 2ヶ月間毎日統括指揮し、その工程管理と安全対策について発注者から絶大の信頼と高い評価を受けた。

- コストダウンや合理化に関する提案・実施数
- 工具・機械に対する卓越した技術力
- 若手技能者の育成数
- 得意先からの信頼感の状況
- 自己の仕事に対する熱意などを記載する。

○後進の指導育成に積極的に取り組み、多くの電工を一人前に育て上げ、その見識を第三者からも高く評価されている。

表彰名	表彰者	表彰内容	受賞者名	受賞年月日
感謝状	T 社	越美幹線(無事故)	元請 T 社	平成 10 年 3 月
無災害表彰	S 社	無災害 55 ヲ月連続	A 社	平成 5 年 7 月

個人で受賞(電力会社以外のものを含めて)したものや、担当した工事で元請会社が受賞したもの、及び安全の工法・工具の開発改善で受賞したものも記載する。

(その他 件) 合計 件

送研認定の作業班長として指揮監督する工事において過去 年間、人身災害等、重大災害の発生はありません。

上記の通り相違ありません。 平成 11 年 10 月 1 日 所属会社 A 電設株式会社 申請会員会社

重大災害とは、死亡災害又は1事故に3名以上の負傷災害(4日以上)の休業をいう。

代表者 ○ ○ ○ ○ 印 代表者 △ △ △ △ 印

特殊工事 実務記録書

[特殊工事の適用条件] * 下記の工事内容以外は通常工事とみなす

所属会社名 _____ 氏名 _____

区分	設備条件	環境条件	作業条件	その他
架線工事	<p>(片側活線作業)</p> 架-1、66KVの2回線、5径間以上 架-2、187KVの2回線、3径間以上 <p>(充電部接近作業)</p> 架-3、187KV5径間以上の並行ルート <p>(長径間架線)</p> 架-4、径間1000m以上の架線	<p>(重要物横過工事)</p> 架-5、66KV2回線以上の架線で横過する高速道路、鉄道、送電線路(特高)、変電所、 1 級国道、1級河川(巾100m以上)、 大規模工場、国定公園などの工事 <p>(市街地や人家密集地域の架線)</p> 架-6、66KV1回線、5径間以上の架線工事。 特に横過する交通量の多い道路、学校、 病院も含む。 <p>(山岳地、その他)</p> 架-7、標高1000m以上の架線工事 架-8、自然環境保全、電波誘導地域等の特殊条件下の架線工事	<p>(緊急対応工事)</p> 架-9、特別災害復旧工事 架-10、二交替制の緊急工事 架-11、標準工程の30%以上の工程短縮工事 <p>(停止工事)</p> 架-12、昼間、毎日停止で10日間×20人以上稼働の架線工事 架-13、夜間、毎日停止で5日間×15人以上稼働の架線工事	<p>(特殊工法など)</p> 架-14、海峡横断工事 架-15、6導体以上の架線 架-16、その他特殊架線工法
鉄塔組立工事	<p>(大型鉄塔組立工事)</p> 鉄-1、高さ120m又は重量200t以上の組立工事 <p>(充電部接近作業)</p> 鉄-2、送電線路(特高)変電所などに近接する組立工事	<p>(重要設備、市街地、狭隘地の組立工事)</p> 鉄-3、高さ30m以上の鉄塔を高速道路、鉄道、1級国道、大規模工場、学校、病院、交通量の多い道路、国定公園などでの組立工事 <p>(山岳地、その他)</p> 鉄-4、標高1000m以上の組立工事 鉄-5、自然環境保全、電波誘導地域等の特殊条件下での組立工事	<p>(緊急対応工事)</p> 鉄-6、特別災害復旧工事 鉄-7、二交替制の緊急工事 鉄-8、標準工程の30%以上の工程短縮工事 <p>(停止工事)</p> 鉄-9、夜間、毎日停止で5日間以上の組立工事 鉄-10、毎日停止工事で架線工事と共同して行う腕金交換、嵩上げ等の組立工事	<p>(特殊工法など)</p> 鉄-11、河川、海上の組立工事 鉄-12、リフトアップ工法や、 その他嵩上げ工法による組立工事

[特殊工事 実務記録の追記] * 表面に書けなかった特殊工事を記入する。

	電力会社	工事名	元請会社	工事概要						担当職務	実務期間	工事の特色(上記のNo.)
	指導 監督 的	東京電力(株)	拝島線 地線張替工事	s電気工事(株)	66kV	160mm	単導体	2ccct	4.6km	0基数	[架]総括班長	平6/9~6/12
実務 経歴	※指導監督的実務とは、作業班長以上の職務のこと			(工事概要)						(工事の特色)		
				○自己が担当した特殊工事のみ記入する						○特殊工事のNo. 架-1、		
				○鉄塔、基礎工事を担当した場合は基数を記入する						又は鉄-3と書き、その内容を記入する		

※指導監督的実務とは作業班長以上の職務をいう。

特殊工事件数の合計(表記の特殊工事件数との合計) 16 件

技能顕彰候補者 技能評価表 (記載例)

(様式3)

申請職種	①架線 ②組立	フリガナ	ソウケンタロウ	年齢	48歳	※採点区分で9~10点枠は、資質・実務能力の両方で3個以内に支部で調整する。									
所属会社	A電設株式会社		氏名	送研太郎											
分類	評価項目	評価内容	留意点	採点区分				ウエイト	会社 評点	小計	支部 評点				
				4~5	6	7~8	9 10								
技術・技能者としての 資質	指導力	立派な教育感覚を持ち組織的、個別的にも効果的な発揮の度合い	人間性を尊重しているか				9	5	45	16.5	16.5				
	企画力	優れた独創力を有し合理的な工法・工具の開発、改善提案の度合い	仕事の将来に夢を持っているか			8		4	32						
	判断力	問題点を把握し正当な判断で目標課題を設定していく能力の度合い	危機管理的感覚を持っているか			8		3	24						
	責任性	責任区分を理解し責任回避せずに自己の任務を遂行する性質	技術技能の継承に熱意があるか			8		5	40						
	協調性	私情を抑え全般的な判断に立って他と共同一致して事をなす性質	個と集団のバランス感はあるか			8		3	24						
実務能力	施工	施工体制	工事内容に適応した施工班の編成・工具準備などが適切で指揮、命令系統を確立し合理的な施工体制を構築する能力の程度。	少数精鋭的な人員配置か			9	3	27	36.1	36.1				
		工程管理	定められた工程を守り、効率的な工程の立案能力の程度。	工程表の密度は高いか			8	3	24						
		品質管理	品質仕様を熟知し作業班に対して的確に指導・助言して「作り込み品質」「出来上がり品質」を守る、守らせる管理能力	必要な時期に検査をしているか			7	3	21						
		渉外対策	地域社会との渉外折衝能力や各所との連携の度合い	計画的に処理し報告は良いか			7	3	21						
		統率力	複数の作業主任者や協力班(応援)を統率する能力の程度。	職場全体のモラルは高いか			8	3	24						
	技術技能	技術力	規格・仕様に対して基本的な技術理解力があり、不測の事態にも技術的判断ができる度合い。	新しい技術への理解力があるか			8	5	40						
		技能力	専門的な高い技能を持ち、新しい工法や新型機械等に対して技能応用力の程度。	技能力向上の努力をしているか			8	8	64						
		施工知識	施工手順を熟知し、技術・技能力を活かして効率化、合理化への知識活用の程度。	率先してコストダウンの提案をしているか			9	7	63						
	安全	安全知識	作業に必要な労安法・安衛則等を熟知し、後進者に対する教育能力の程度。	必要な資格を取得しているか			7	3	21						
		安全装備	仕様書、安全計画書に従った安全装備の手配と指導・活用の程度	事前点検は徹底しているか			8	3	24						
安全管理		TBM-KY活動の効果的な実施と安全管理能力の発揮の程度	地についての安全活動であるか			8	4	32							
実務功績	*実務功績の採点基準(採点は整数とする)														
	総括班長の年数	4年未満	4年以上	6年以上	8年以上	10年以上	12年以上	14年以上			7	10	70	25.5	25.5
	特殊工事の件数	3件以上6件未満	6件	9件	12件	15件	18件	21件			8	5	40		
	安全等受賞件数	3件以上5件未満	5件	7件	9件	11件	13件	15件			8	5	40		
	無災害継続年数	10年以上	12年	14年	16年	18年	20年	22年			7	15	105		
採点	4	5	6	7	8	9	10	評価点合計			100		78.1		
*作業班長の経験年数×1/2を総括班長の年数に加えることができる。 *会社評点=採点×ウエイト 小計=会社評点×0.1(1/10) *支部加点は1~5点の範囲とし、特別の場合に限り支部で調整・加点する。										支部加点			0		
										総合評価点			78.1		
*資質・実務能力の採点基準(採点は整数とする)															
採点	評価基準				上記の通り技能評価いたしました。										
4~5点	問題はないが、時々助言が必要である				平成 年 月 日					申請会員会社		代表者名		印	
6	自己管理(PDCA)ができ、安心して任せられる									評価者役職名		氏名		印	
7~8	仕事ぶりは他の模範となり、後継者を良く育成している									申請会員会社の役職者が評価する。					
9~10	他の追従を許さない卓越した客観的評価を受けている														
(注意事項:他の追従とは、他の総括班長を対象とする)															